

私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会
2023 年度九州地区研究会準備委員会（メール会議）議事録

日時（期間）：2023年11月2日（木）～ 11月10日（金）

参加者：6館

構成種別	大学名	氏名
福岡北部地区 2024年度研究・事例報告分担校	福岡国際医療福祉大学	井村
九州南部地区 2024年度研究・事例報告分担校	第一工科大学	酒元
九州南部地区 2023年度 研究会幹事校	沖縄科学技術大学院大学	上原 藤子
九州地区協議会理事校	久留米大学	野田 俊介
九州地区協議会前理事校	福岡工業大学	後藤
福岡南部地区 2024年度 研究会幹事校 研究・事例報告分担校 兼務	久留米工業大学	森 文子

1. メール会議（経緯）：

私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会理事校の久留米大学より 2023 年度九州地区研究会準備委員会について構成大学にメールが配信される。

2023 年 11 月 2 日：メール会議の開催通知

2. 資料確認

- ① 私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会 2023年度九州地区研究会準備委員会次第
- ② 私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会 2023年度九州地区研究会開催記録（資料1）
- ③ 私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会 2023年度九州地区研究会決算書（仮）（資料2）
- ④ 私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会 2024年度九州地区研究会実施要領（案）（資料3）
- ⑤ メール会議留意事項について（資料4）
- ⑥ 審議結果記入欄（資料5）

3. 報告事項

2023年度九州地区研究会について（沖縄科学技術大学院大学）

2023年度当番校沖縄科学技術大学院大学より以下の通り報告があった。

- ① 研究会開催記録（資料1）に基づき報告
- ② 研究会決算書（仮）（資料2）に基づき報告

全館より上記内容が承認された。

4. 協議事項

2024年度幹事校 久留米工業大学より資料3に基づき提案がなされ、下記（①～⑥）の協議事項について、審議された。

- ① 研究会日程・会場については以下の通りである。
- ・日程：2024年9月6日（金）
 - ・会場：研究会は、Zoom ミーティングにて行う。
 - ・研究会の参加についてはWeb 申し込みとします。

- ② 統一テーマについては、以下の通りである。

『学生の読書離れをどう変えていくのか』

学生の長文読解力や語彙力、批判的思考力の低下は、現在の大学教育における大きな課題となっている。こうした状況は、スマートデバイスの急速な普及による動画や短文のデジタルコンテンツにより情報や知識が手軽に取得できるようになったことに一因があると考えられる。一方、デジタルコンテンツが、定着した情報資源となっている現状においては、強制的な抑制は厳しい。このような現状を踏まえ大学教育に必要な長文読解力や語彙力の向上・獲得に必要な「読書習慣」の定着、「読書離れ」の防止に対する各図書館の取組事例の報告を通し、その重要性を再考する機会としたい。

- ③ 発表について（案）

発表校各館の状況に応じて事例（または研究）発表は一校あたり45分程度とします。

（発表 30分＋質疑応答 10分＋準備 5分）

研究・事例発表の区分・タイトル・発表者の案を2024年2月2日（金）までに幹事校（久留米工業大学）へ連絡することとします。

※人事異動等により発表者やテーマが変わる際は、その都度連絡を行うこととします。

発表順については、タイトルを見て幹事校が決めます。

最終的には、2024年度第1回定例幹事会（6月開催予定）にて決定します。

- ④ 参加費については、以下の通りである。

・徴収しない

- ⑤ 意見交換会

・行いません

- ⑥ 講演については、幹事校久留米工業大学にて調整中。（講演＋質疑応答 約 45分）

【審議結果】

沖縄科学技術大学院大学より以下2点についての質問が寄せられ、理事館 久留米大学より説明がなされた。

- 1) 2024年度の研究会がZoom開催となった経緯と開催方法等は幹事館の意向で決定されるのかを説明願いたい。
- 2) 昨年4校であった事例発表校が1校減った理由について

1) 研究会の開催形式について

まず、研究会を持続して開催することを最優先に幹事校の意向を踏まえて、対面開催のメリットを十分に理解した上で幹事館である久留米工業大学よりZoomミーティング開催が提案されました。Zoomミーティング開催であれば、旅費や移動の負担がなく、参加者数も増えるのではとの意図を含んでおります。なお結論は、準備委員会にお諮りし、議決により決定となります。

2) 事例発表校数について

当初の発表校は昨年どおり4校の予定でしたが、諸事情により1校辞退があり、今回3校の発表校となりました。加盟館の皆様には研究会幹事校や事例発表校などの当番校を中々お引き受けして頂けないのが現状についてもご理解頂ければ幸いです。

これにより全館より2024年度実施案が承認された。